

フィリピン派遣を前に会見する石根部長（右から2人目）、村上看護師（右端）ら



看護師1人ずつを派遣する。

の診療に当たる。

18日、福山市で会見した石根部長は「現地では不衛生な環境から下痢や破傷風がまん延していると聞く。市の代表として力になりたい、村上看護師は「病院が壊れ、治療を受けられない人も多い。初の海外支援だが、全力を尽くしたい」と話した。（舟越俊司）

AMDAと連携

台風被災の比へ

医師と看護師

福山医師会派遣

台風30号で被災したフィリピンの支援のため、福山市医師会（森近茂会長）は19日から、国際医療ボランティアAMDA（菅波茂代表、岡山市北区伊福町）と連携し、現地に医師と

派遣するのは、脳神経センター大田記念病院（福山市）の石根周治救急部長（45）と村上悠也看護師（30）。同市出身の菅波代表からの要請に応えた。

関西空港を出發。21日、被害が大きかったレイテ島のタクロバン市を拠点に、医療支援が手薄な近隣市町で被災者のけがや病氣